

- 富山大学提案の後期研修医対象の専門医養成プログラムが
文部科学省の事業として採択されました -

- 富山大学で後期研修を行い「統合型専門医」を目指せ -

富山大学はこのたび、文部科学省の「大学病院連携型高度医療人養成推進事業（5年間で75億円、1年間15億円）」に「地域発信・統合型専門医養成プログラム」を提案し採択されました。この事業は若手医師のキャリア形成を支援する国家的プロジェクトであり、全国28大学からの申請があり、そのうち19件が採択されました。本事業は、大学病院が若手医師にとって魅力ある場として活性化するため、複数の大学病院が緊密に連携・協力して、それぞれの得意分野の相互補完を図り、循環しながら質の高い専門医や臨床研究者を養成する取組を文部科学省が支援するものです。

富山大学のプログラムの特徴は、1. 「教育県」としての富山を活かし、学生 - 前期・後期研修医 - 大学院生 - 専門医教育を一貫して行う、2. 地域で活躍する幅広い多分野にわたって診療できる医師の育成、3. 臨床医であると同時に「薬の都」である富山の和漢診療、「育薬」「創薬」を目指した臨床に根ざした研究を行う人材の育成にあります。

富山大学附属病院の各診療科が全国の22の大学病院と連携し、113の専門医養成コースを設け、皆様の多様な希望に応じられるものとなっています。また、地域に定着する医師の育成の面で、岐阜大学地域医療医学センター、指導者育成の面で東京大学医学教育国際協力センター、臨床疫学研究の面で新潟大学などと連携するなど多岐にわたる連携を行っています。

平成20年7月23日

病院長 小林 正
医学部長 宮脇 利男

「地域発信・統合型専門医養成プログラム」
(富山大学附属病院)

- 1) 専門医養成コース
- 全国の22の大学病院と連携
 - 113の専門医養成コース

- 2) 「地域に定着する医師を養成するプログラム」
- 岐阜大学地域医療医学センター
 - 福井大学総合診療部
 - 三重大学

- 3) 指導者の資質向上の取組
- 東京大学医学教育国際協力センター
 - 岐阜大学地域医療医学センター
 - 福井大学総合診療部

- 4) 環境整備(スキルスラボなど)
- 東京大学医学教育国際協力センター

- 5) 臨床疫学研究
- 新潟大学

